

市民と市長との意見交換会<両津地区>質疑要旨

日時：令和5年6月10日（土）17:00~17:50 会場：野浦公民館

参加人数：29名

1. 市政について

市長より説明	(説明内容) ○トキエアについて ○両津港の改修について ○暮れの災害、防災について ○コロナの状況について ○行政職員をかたる詐欺について ○佐渡汽船について ○コミュニティ交付金について
--------	--

2. 質疑や意見

質問者 (居住地区)	意見の要旨	市長の回答	関係部署
野浦	昨年末（令和4年12月）の災害について。 お風呂を使わせてもらえたのは有難かった。ご飯は電気ではなくガス焚きだったので助かった。	身内ながら水道課の職員はよくやってくれたと思う。今後はもっと良い手段がないかを考えたい。盲点だったのが洗濯で、コインランドリーがいっぱいになったのは想定外だった。ホテルの洗濯機を借りるなど今後、対策を考えたい。	防災課 両津支所 上下水道課
月布施	年寄り2人暮らしだが、ちょうど施設で預かってもらっているタイミングで1人の時が昨年末の災害時だった。やることがないので20時くらいに床に就いたが、外から人の話し声が聞こえて怖かった。役所の人水などを配布していたのかもしれないがちょっと気味が悪かった。	こういう事は良い面も悪い面もある。個別配布だと役所の手も回らなくなるため、集落センターに水や食料、情報を書いた紙などを一括で置いておいて、それぞれが欲しいものを持ち帰るシステムにしたい。もちろん、集落センターまで来れない方はリスト化して、その家には職員が配布する。そのようなシステムを今、考えている。	防災課 両津支所
月布施	降ってわいたような災害だったのでどうしたらよいかわからなかったというのが正直なところだが、市長も冒頭で仰ったように停電が長かったので、自家発電できるような発電機を備えていれば対応できたのではとも思った。また、食料、水などを夜遅い中でも配布してくれて有難かった。	職員もよくやってくれた。職員を褒めてくれるその言葉が一番嬉しい。	防災課 両津支所
野浦	自主防災というのが各集落にあると思うのでそこを強化したい。区長が囑託員会議などで情報を聞いて集落民に情報共有してやっていきたい。	両津支所が地域要望の現地確認に伺う際に、公民館や集落センターを拠点として災害時は緊急対応できるように区長さんへ支所から提案したり、逆に集落から意見をもらったりして各集落の自主防災を強化してもらいたい。	両津支所 防災課
野浦	トキの放鳥について。以前から野浦集落はトキの放鳥に賛成し、協力的な立場を示しているが、最近増えてきているせいか、トキが田んぼを荒らしている。これを止めることはできないとは思いますが、逆にそれを利用してトキが食べるほど美味しいお米を宣伝できないか。	棚田米としてパルシステムが買い取っていると思うが、トキを付加価値にして買い取り価格をあげてもらおうよう交渉してはどうか。	農業政策課
月布施	たまたま今回の災害の場合、当集落は雪で停電したくらいで水道もガスも平気だったのでそんなに慌てる事はなかった。これが本格的な災害だったら市長が言ったような集落センターや公民館を拠点にして、情報や食料を置いてなんてできないと思う。まず集落センターまで歩いていけない状況だと思う。	停電災害のレベルには集落センターの拠点化で対応したいという事。電気・ガス・水道が全て使えなくなるのは大規模災害レベルなので、集落センターや公民館にいられないと思う。その場合は一時避難所として体育館等に避難が必要になる。災害によって対応は考えなければいけない。今回の件は、電気だけでも長期の災害になり得たケースにおける対応の話である。	防災課
月布施	今年の4月で月布施の農協（Aコープ委託店）がなくなった。このため、この地域に店がなくなったので農協には、できれば移動販売をしてほしいとお願いしているが良い返事がいただけない。行政でどうにかできないか。	利益がでるかどうかが問題になる。民間会社による移動販売車の話が出ている。また、これからの考え方が地域が店を出す、という事も考えている。色々議論しなければならないが、可能かどうかも含めて検討したい。	両津支所